

2019年3月期 決算説明会

2019年5月24日

アイエックス・ナレッジ株式会社

JASDAQ(9753)

2019年3月期 決算の概要

トピックス

2019年3月期

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・新入社員77名入社 ・組織再編(製販一体制へ移行) ・情報システム会社1社から表彰 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・RPA製品「UiPath」の開発パートナーに認定 ・大手通信事業社1社から表彰
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・RPAソリューション「WinActor」の取扱開始 ・セキュリティソリューション「AppGuardEnterprise」の取扱開始 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・信託銀行1社、情報システム会社1社から表彰
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・信託銀行1社から表彰 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・J-Stock銘柄に選定 ・損害保険会社1社から表彰
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・自己株式 15,000株取得 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・大手ベンダー1社、情報システム会社1社から表彰
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・自己株式 135,000株取得 ・大手メーカー1社から表彰 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・IBMとのビジネス・パートナー契約締結 ・エヌアイシー・パートナーズ(株)とのビジネスパートナー契約締結
		3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックチェーン活用サービスの実証実験開始 ・大手メーカー1社から表彰、情報システム会社1社から感謝状、パートナー認定

市場環境と当社の取組み

市場・ユーザー環境

サービス強化やビジネスモデルの変革
を目的とした「攻めのIT」

業務効率やコスト削減
を目的とした「守りのIT」

↓ IT投資の拡大

↓ IT投資の復調

IT利活用⇒クラウド、IoT
新技術⇒AI、ロボティクス

基幹系システム、情報系システム
の開発や再構築

IKI VISION2020

①中核事業の拡大

②次期成長事業の創出

③事業基盤の強化

2019年3月期 業績サマリー

- **好調な事業環境を背景に、前期比、増収増益を達成。**
 - ✓ 大手通信会社向けシステム検証案件の拡大
 - ✓ 大手SIベンダーからのシステム開発案件の拡大
 - ✓ 車載組み込み案件の拡大
 - ✓ 製販一体による受注のスピード化

- **事業基盤の強化に向けた取り組みにより、営業利益率も改善。**
 - ✓ 事業の選択と集中の推進
 - ✓ 部門間接費の管理強化
 - ✓ PMO機能強化

2019年3月期 経営成績

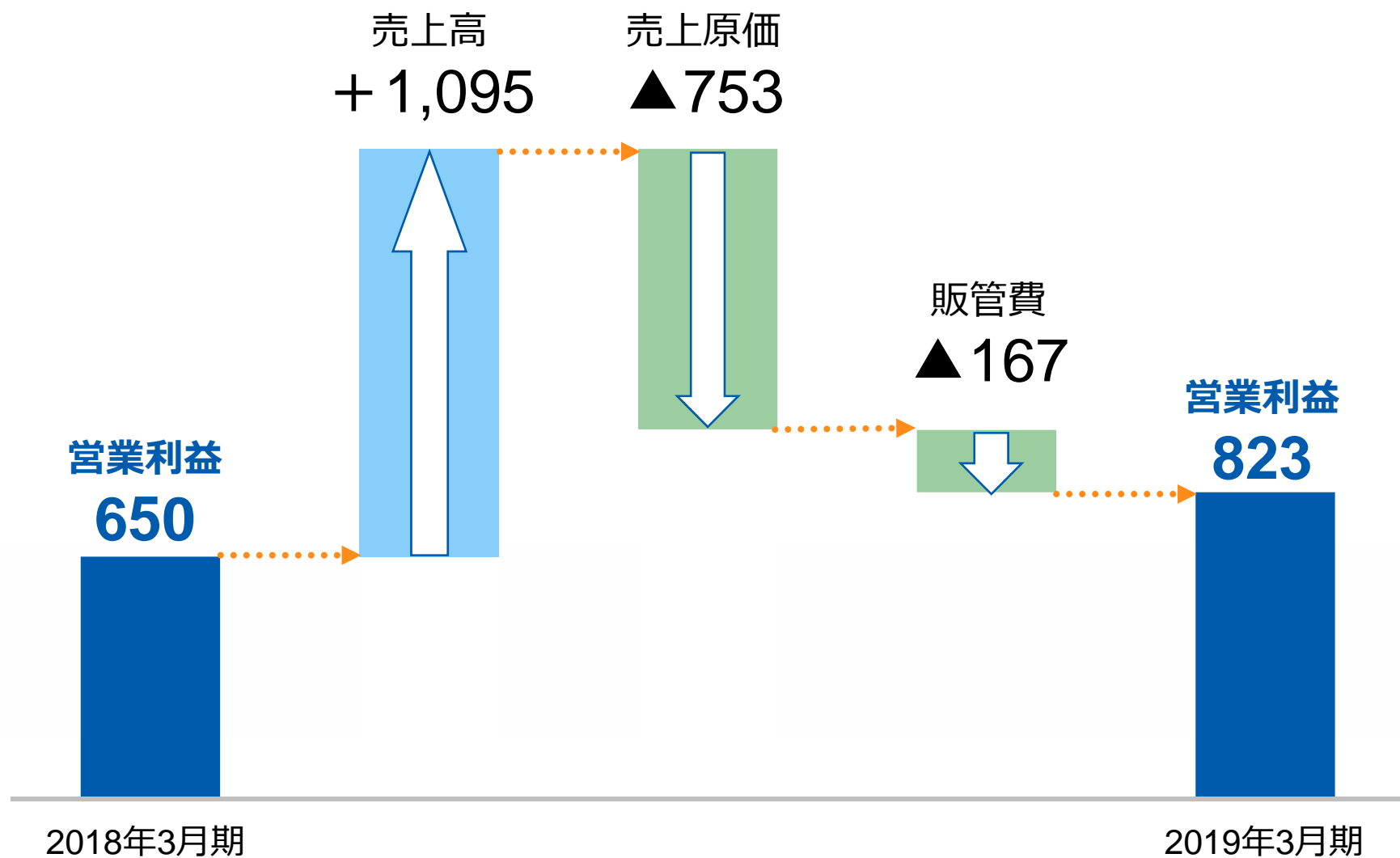
(単位：百万円)

	2019年3月期	2018年3月期	増減率
売上高	17,761	16,666	6.6%
売上原価	14,691	13,937	5.4%
売上総利益	3,070	2,729	12.5%
売上総利益率	17.3%	16.3%	—
販管費	2,246	2,079	8.0%
営業利益	823	650	26.7%
経常利益	879	692	26.9%
当期純利益	586	465	26.1%
配当金	20円(*)	10円	—

(*) 普通配当10円 記念配当10円 (誕生20周年記念配当)

営業利益の変動要因

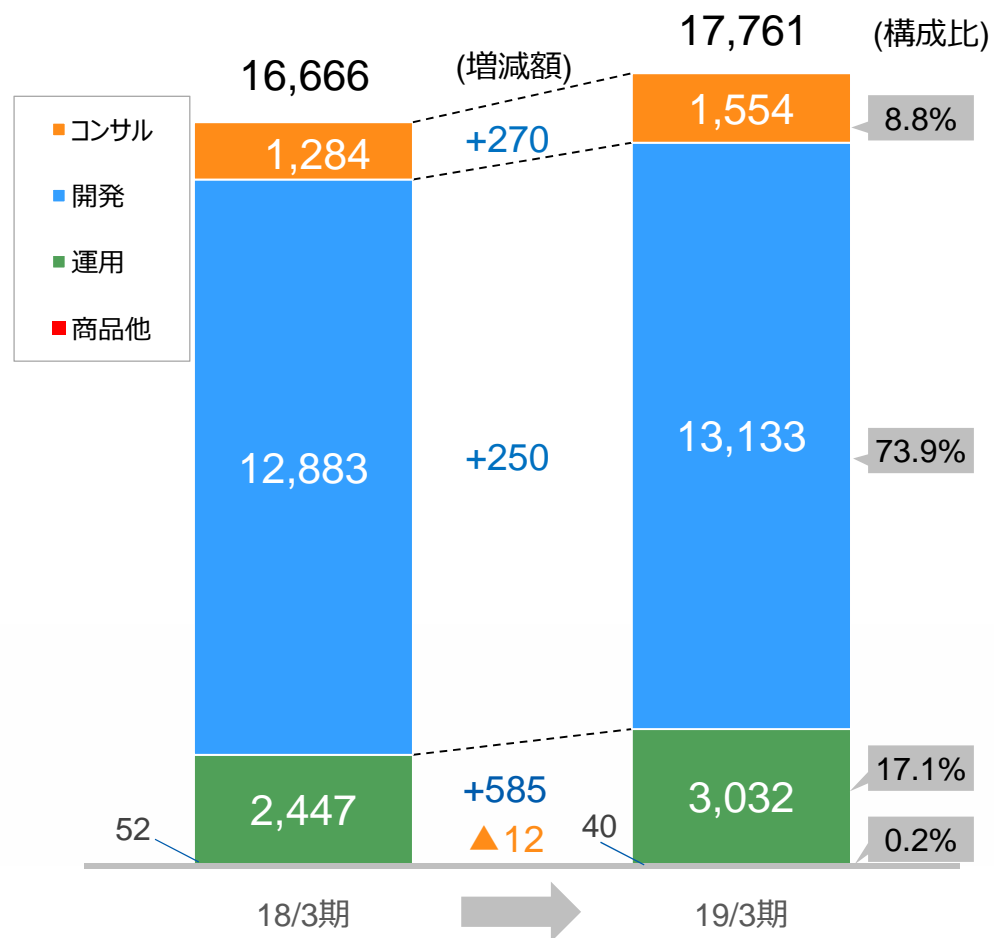
(単位：百万円)



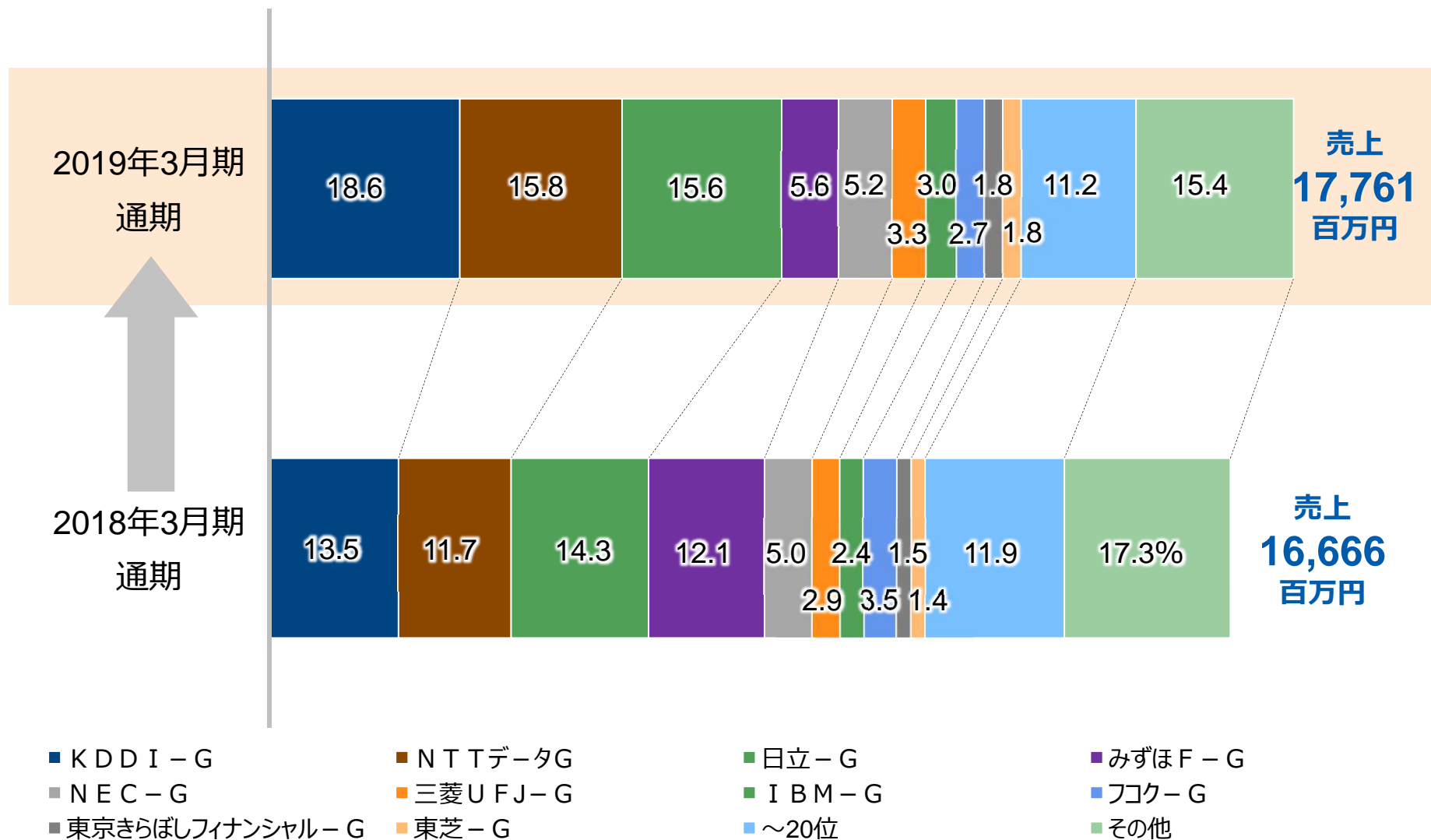
品目別売上構成

品目別

(単位：百万円)



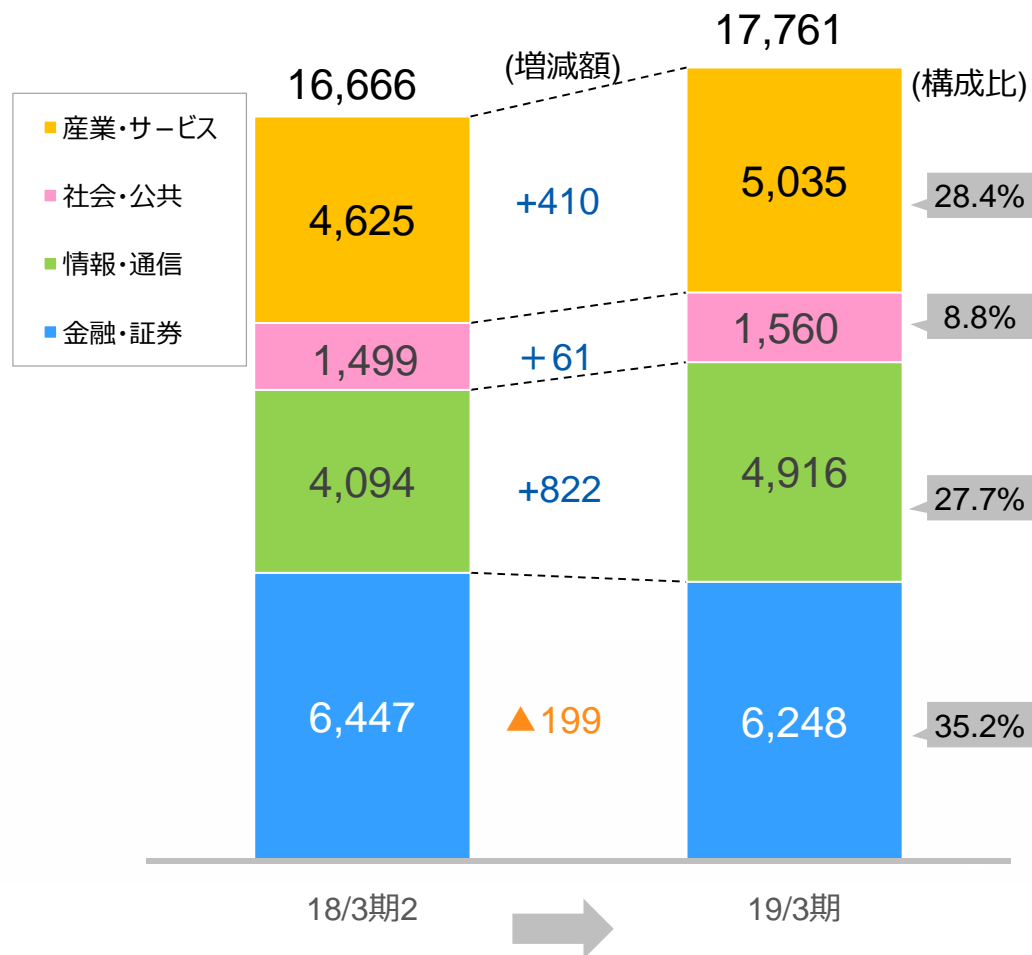
契約先顧客グループ別売上構成



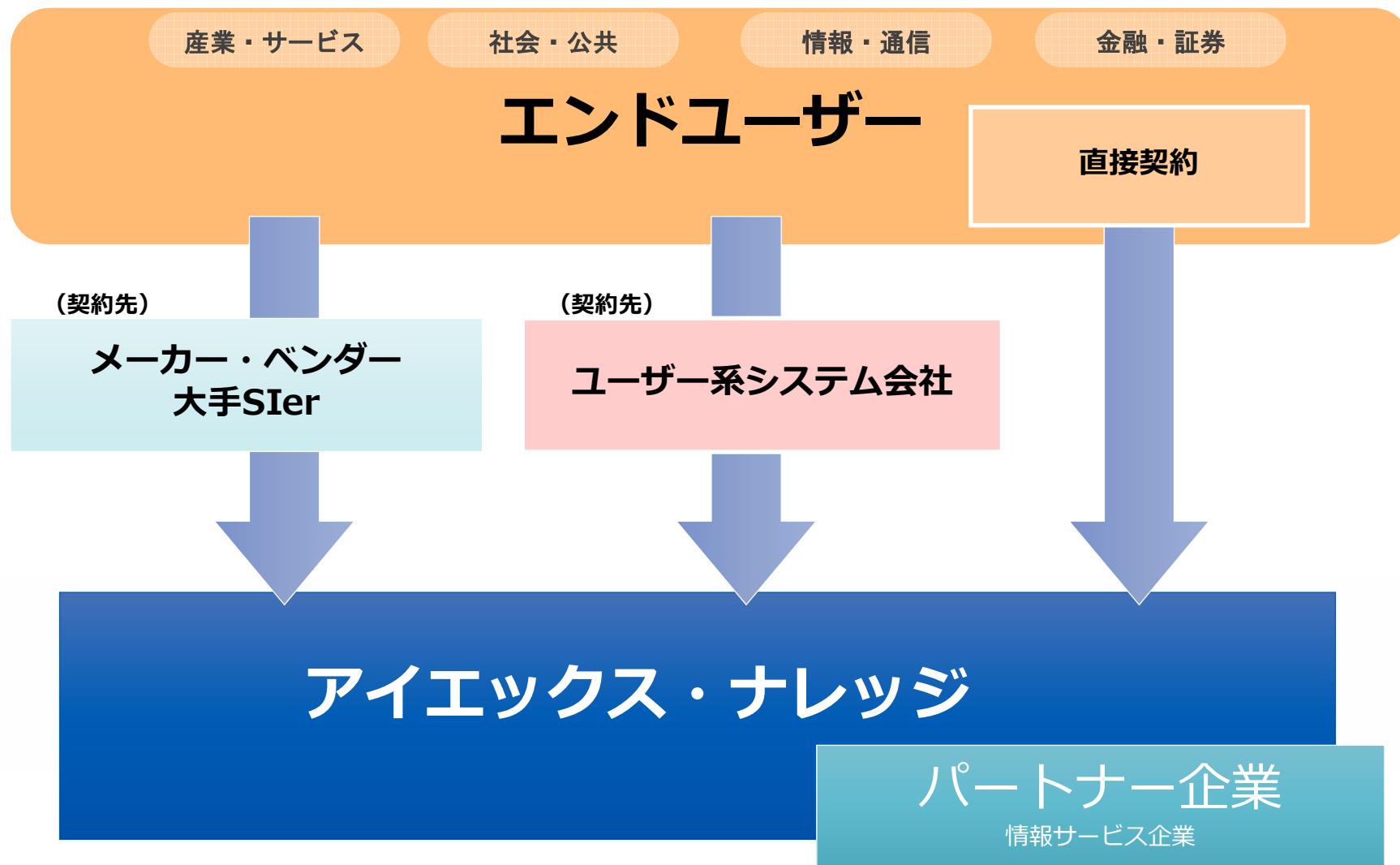
※グラフ中の数値は、売上全体に占める割合(%)を表しています

エンドユーザー業種別売上構成

エンドユーザー業種別 (単位：百万円)



(参考) 当社のビジネス構造

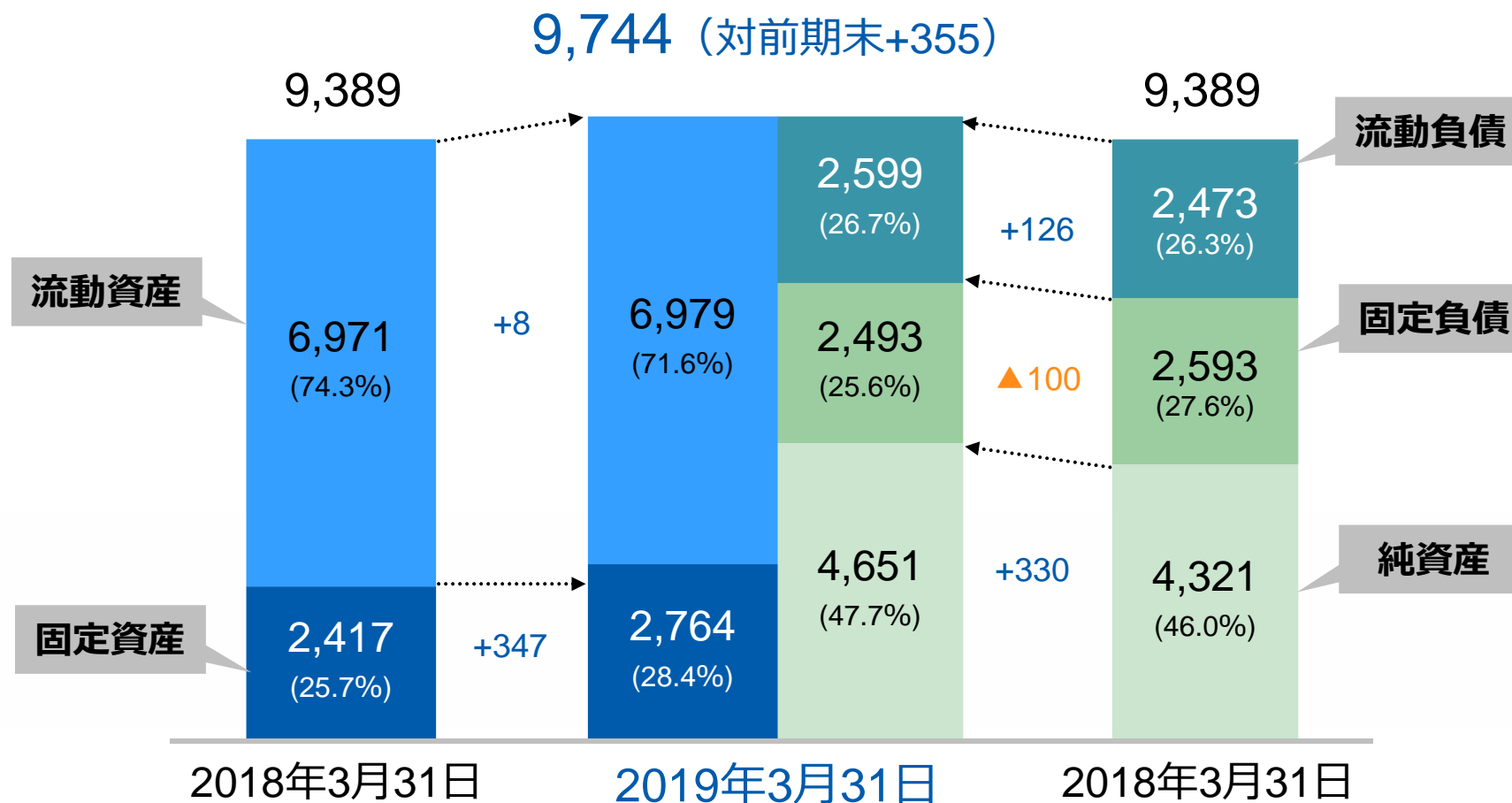


貸借対照表

資産の部

負債・純資産の部

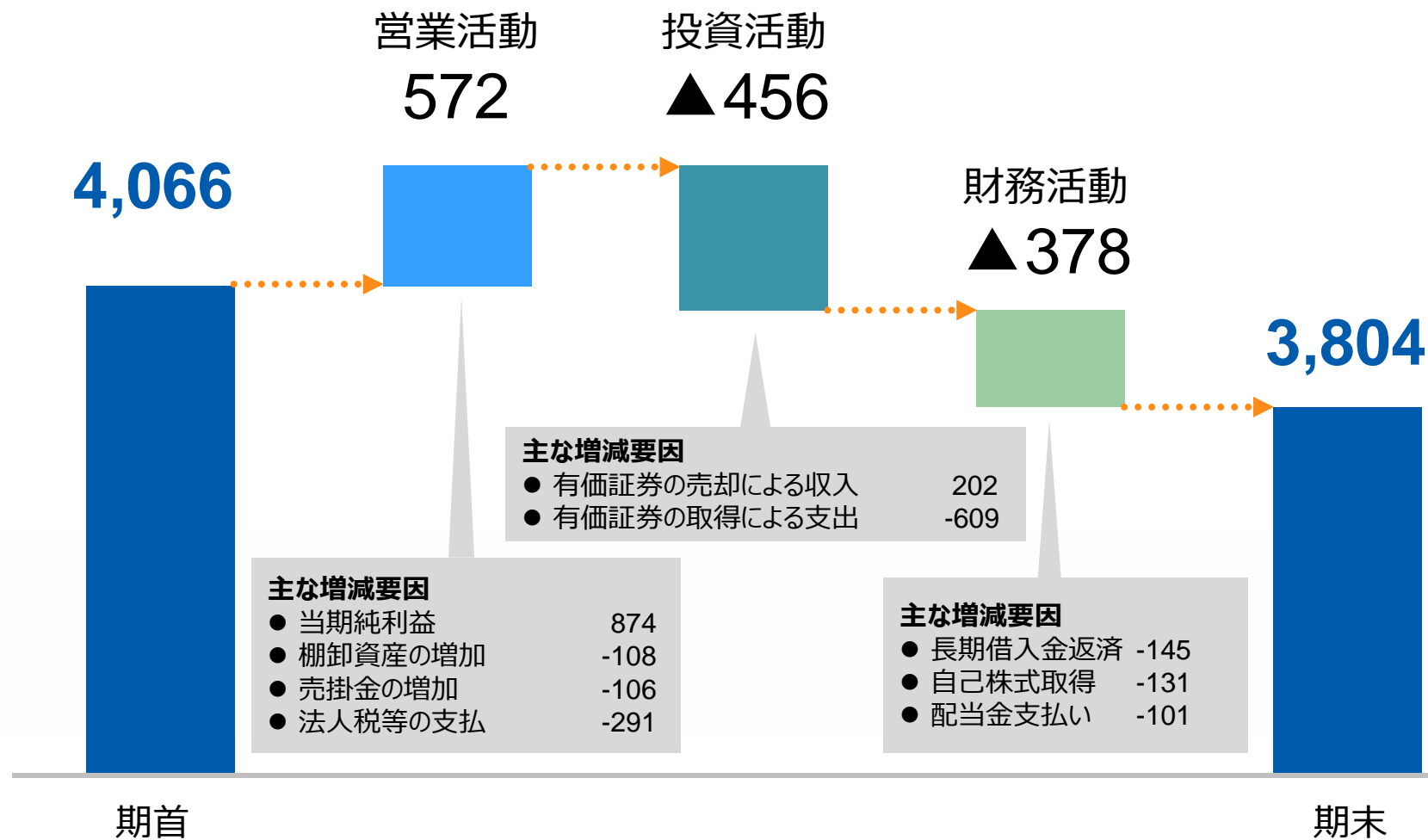
(単位：百万円)



キャッシュ・フロー

2018年4月1日～2019年3月31日

(単位：百万円)

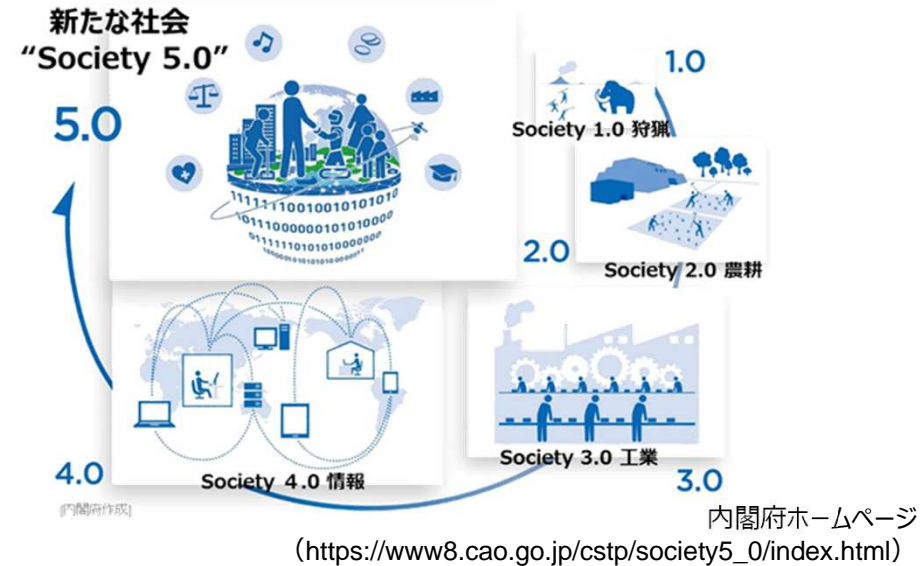


2020年3月期 業績見通し

当社を取り巻く外部環境の変化

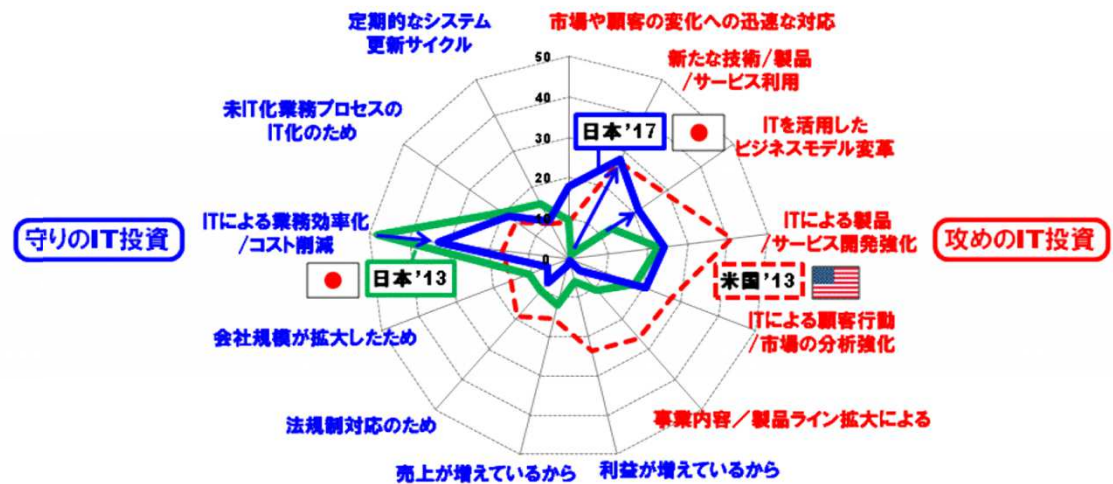
社会の変化

⇒ 情報化社会（4.0）から
Society5.0の社会へ
（ITの浸透、新技術、DXの進展）



顧客ニーズの変化

⇒ ITによるコスト削減等の
「守りのIT投資」から
ビジネス成長に貢献する
「攻めのIT投資」へ



出典（2017年 JEITA / IDC Japan調査）

当社の取り組み ～中期経営計画～

【企業理念】

私たちは情報サービスを通じ人と社会の豊かさに貢献する

【ビジョン】

しっかりとしたモノ(システム)づくりと高品質のサービスを提供する
すべてのステークホルダーから選ばれる企業になる



【中期経営方針】 5～10年後を見据えた経営方針 (IKI VISION2020の方針を踏襲)

- ①中核事業の拡大 ②次期成長事業の創出 ③事業基盤の強化



【中期経営計画】 3ケ年のローリング方式

中期経営計画での重点取り組みポイント①

営業体制

営業体制強化

- ・プロダクト別営業戦略
- ・顧客別リテンション強化

- ◆ 戦略的営業活動の実践
⇒ プロダクトや販路を意識した営業活動
(クロスセル強化、顧客ターゲティング強化)
- ◆ 営業プロセスの確立
⇒ 営業情報の見える化 (情報の共有化)

開発体制

厳正な開発管理と新技術対応強化

- ・不採算プロジェクト撲滅
- ・原価管理の徹底
- ・開発効率のアップ
- ・デジタル (DX) 化対応

- ◆ 筋肉質な開発体制へ
⇒ プロジェクトモニタリングの強化
⇒ 原価情報の見える化 (原価改善)
⇒ 開発ツール等の導入検討
⇒ 新技術 (DX) に向けた開発体制整備

案件対応力

パートナー企業と共に案件対応力を強化

- ・人財の育成教育
- ・新技術のノウハウ習得
- ・パートナー企業との連携強化

- ◆ 人的リソースの拡大
⇒ 中長期的視点でのパートナー企業連携
(共同新人教育制度等の協業関係)
- ◆ 新技術対応
⇒ 新技術に対応した人財教育
(社内認定制度、資格取得奨励)

中期経営計画での重点取り組みポイント②

デジタル 化対応

デジタル化（DX）に対応した事業検討

- デジタル技術の習得
- ビジネスオートメーション
（働き方改革・RPA活用）
- 情報セキュリティソリューション
- ブロックチェーン技術
トークンエコノミーの展開

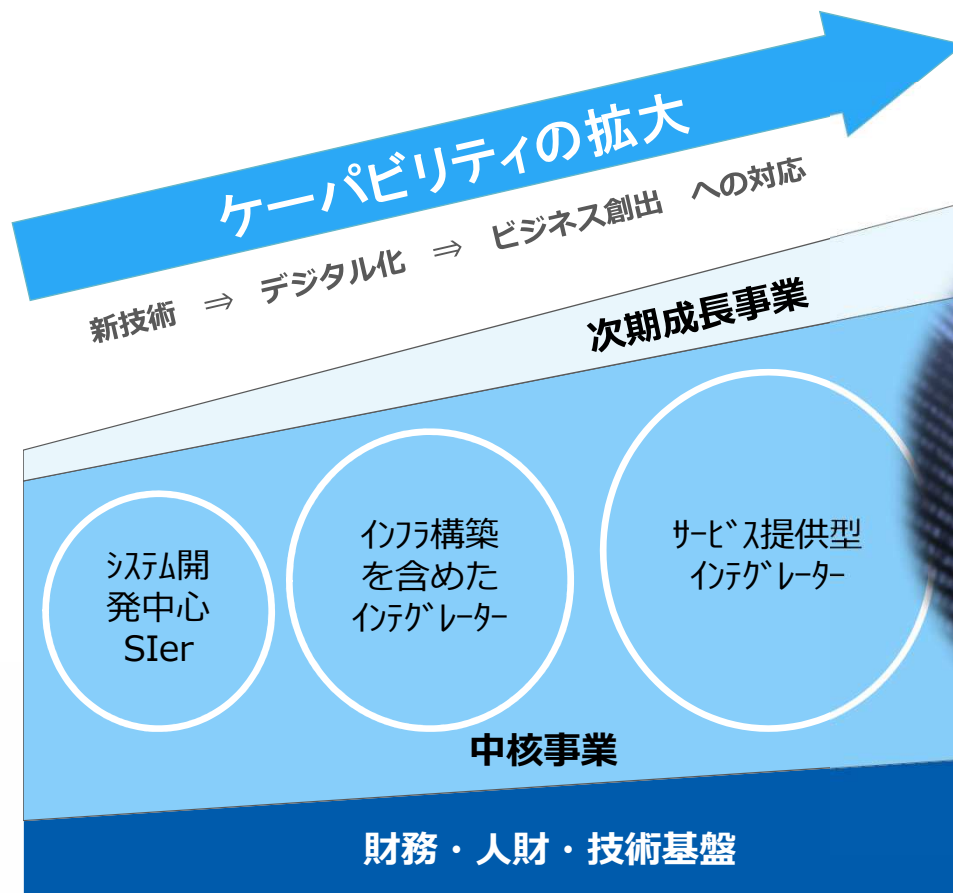
- ◆ お客様ニーズに応える技術基盤強化
⇒ お客様との共創による事業への取組
- ◆ 他社ソリューションとの連携
⇒ オープンイノベーションによる他社も
含めたカーパビリティ強化

デジタル先端技術を活用したソリューションサービスの創出

- ブロックチェーン技術の対応強化
トレーサビリティ
サプライチェーン
- AI（機械学習・深層学習・
ビッグデータ・CHATBOT）
- IoT
（画像AIソリューション・IoT検証）

- ◆ 将来の中核技術による
ソリューションサービス展開の早期実現
⇒ デジタル先端技術分野における開発・
構築を強みの軸にし、ソリューション
サービスを充実させていく

中期経営計画で目指すもの



共創

お客様の
ビジネス変革
ビジネス創出
に貢献

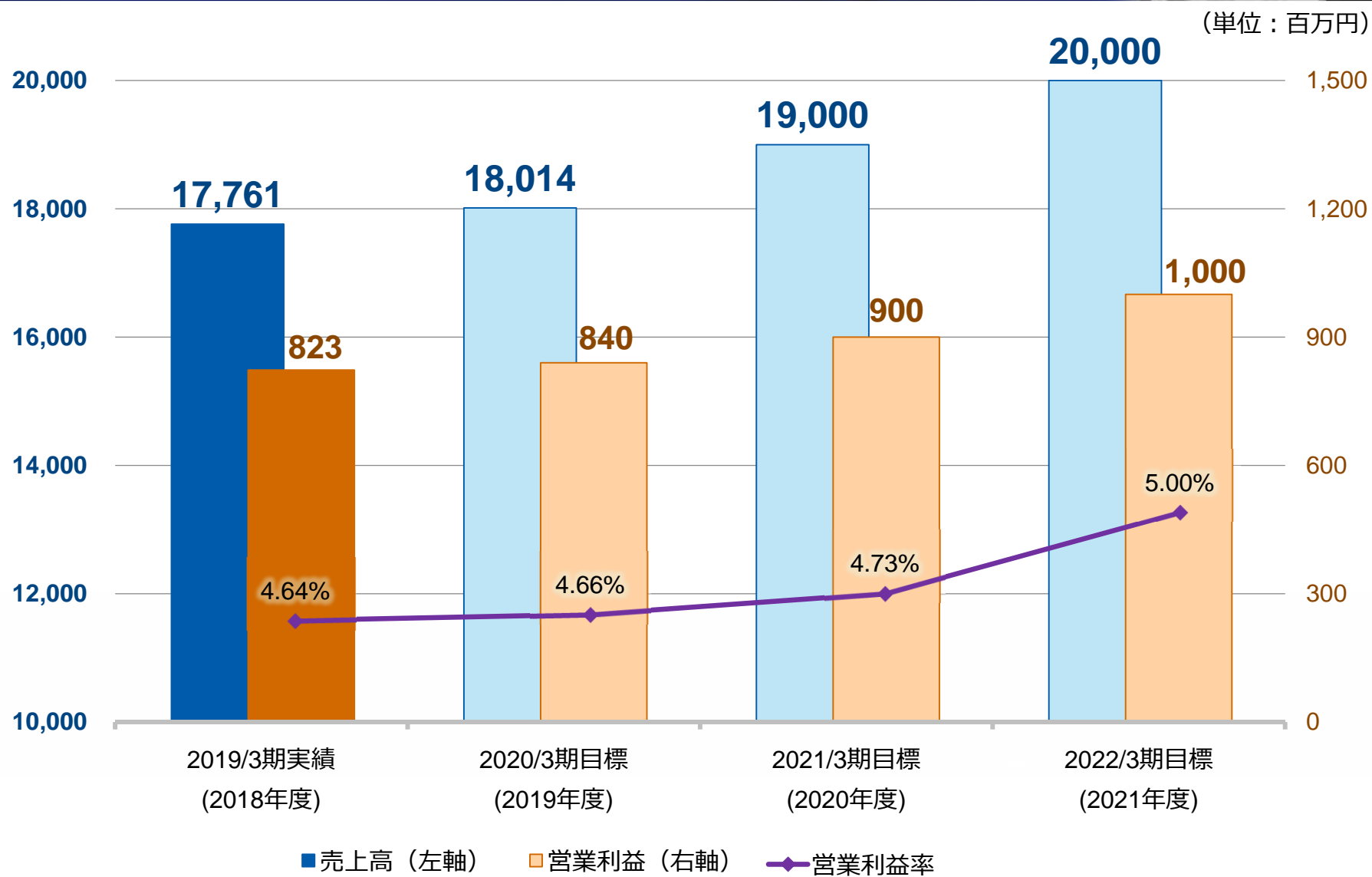
ITユーザー
(お客様)

攻めの
IT利活用

守りの
IT利活用

ケーパビリティの拡大からお客様との「共創」へ

中期業績目標



2020年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2020年3月期 予想	2019年3月期 実績	増減率
売上高	18,014	17,761	1.4%
売上原価	14,601	14,691	▲0.6%
売上総利益	3,413	3,070	11.2%
売上総利益率	18.9%	17.3%	—
販管費	2,573	2,246	14.5%
営業利益	840	823	2.0%
経常利益	879	879	0.0%
当期純利益	591	586	0.9%
配当金	15円	20円	—



IX Knowledge Inc.

本日はご多用中にもかかわらず、説明会へお越しいただき誠にありがとうございました。

当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございますこと、予めご承知いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先
経営企画本部 経営管理部
電話 03-6400-7010
E-mail ir@ikic.co.jp
URL <https://www.ikic.co.jp>